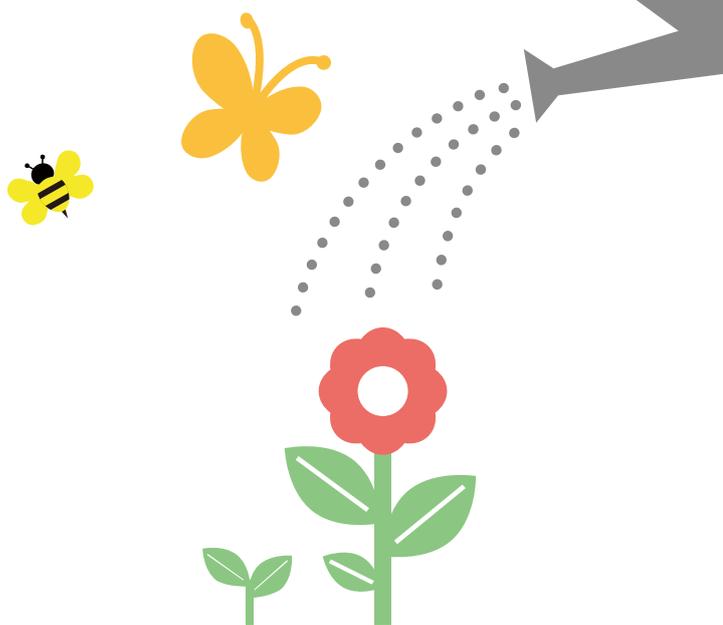
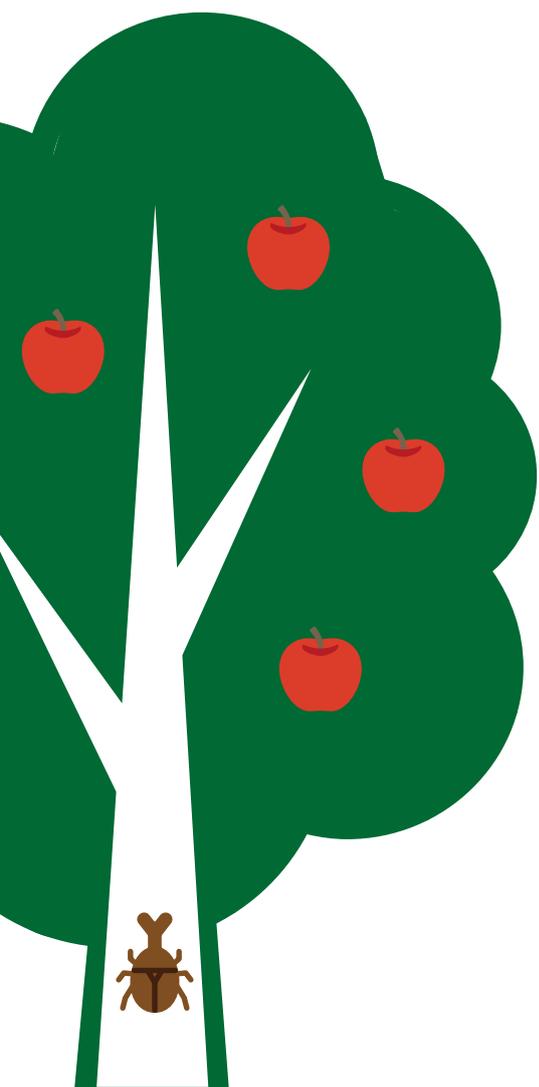




千葉大学園芸学部

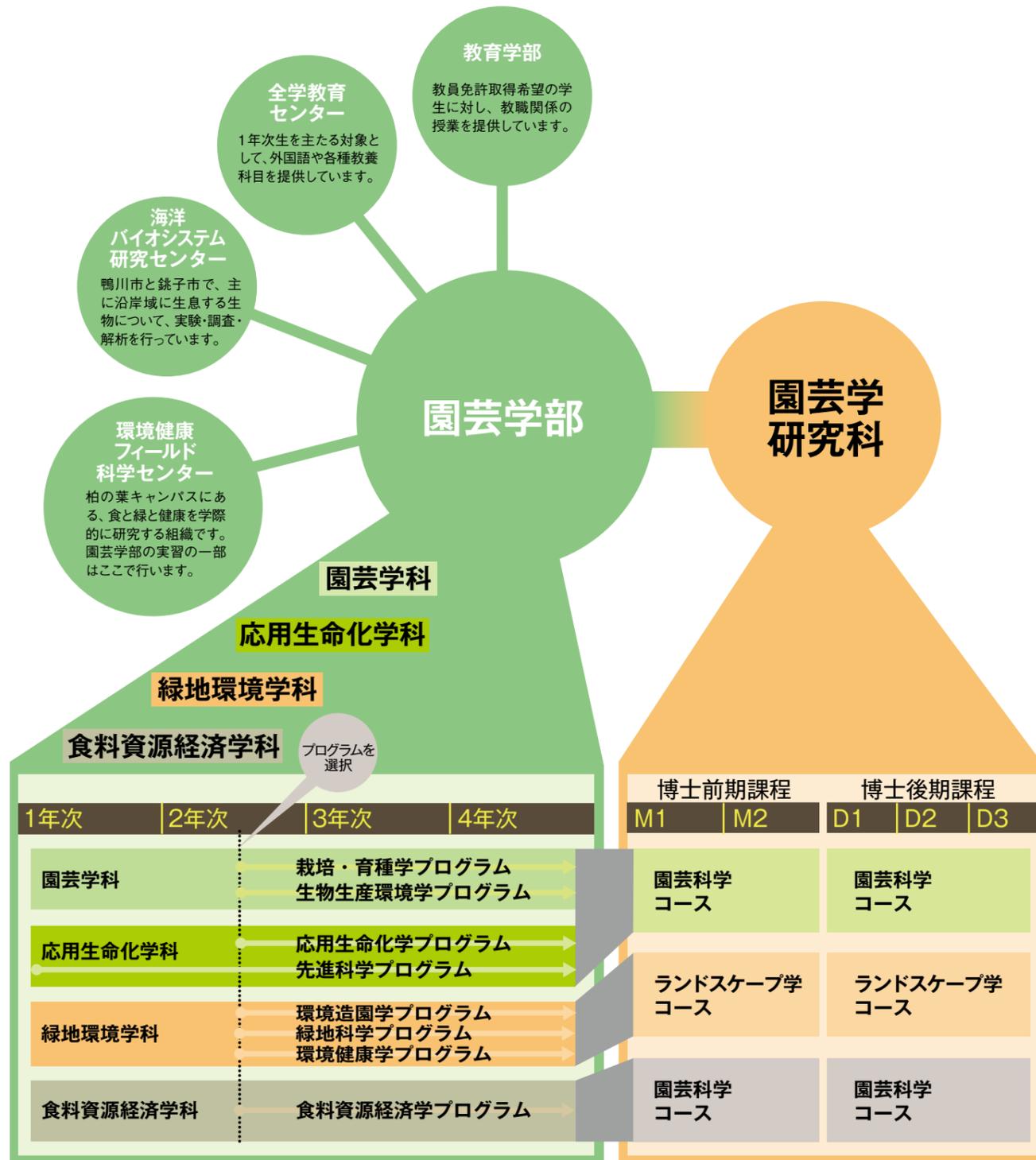
Chiba University Faculty of Horticulture 2024



食と緑の最先端へ

千葉大学園芸学部と 関連する学内ネットワーク

千葉大学園芸学部は4学科7プログラムほか、先進科学プログラムから構成されており、「食と緑」の総合学府として、他の学部・大学院・センター等とも相互に連携しながら多分野にわたる学際的な教育・研究を推進しています。



園芸学部長
松岡延浩

ごあいさつ

千葉大学園芸学部は、「園芸」と「ランドスケープ」を専門領域とする日本で唯一の国立大学園芸学部です。日本におけるこれらの技術は世界有数の洗練された高度なものであり、本学部では栽培プロジェクトといった実体験を通して、その最新の知見を学ぶことが、植物の好きな学生にとって面白さを実感できる場所だと思います。

「園芸学とは人間が植物を騙し、騙される学問」だと私は思っています。たとえば人間は甘いりんごが欲しいけれど、りんごは子孫を残せばよいのでそれほど糖を蓄えたくないかもしれません。そこで人間は品種改良をし、環境を制御し、りんごを騙してよりおいしくさせる技術を高めていくわけです。一方、ランドスケープは植物の力で、人間の心を癒やす技術です。この場合、人間が植物に騙されているとも言えるでしょう。

これからの本学部の挑戦は、世界に向けて新しい形態の園芸・ランドスケープを創る研究・教育をしていくことです。植物の形質と遺伝情報の関係性を解明して短時間で新しい品種を創る技術の実現など、人類未踏の研究も始まっています。また、令和2年度より千葉大学では、留学が卒業の必須条件となる「全員留学」をスタートしました。海外留学は、さまざまな気づきを得るきっかけとなります。水の利用についての考え方を例にすると、1週間でも発展途上で現地の人と話をすると「水」そのものに対する価値観が日本とは違うことがわかり、それを応用した農業における灌漑・排水をどのように普及したら良いかを考え直すきっかけにもなります。留学経験によってインスピレーションを得て、広い知見に基づいた判断が自らできるグローバル人材になっていただきたいと思います。

沿革

- 1909 明治42年** 千葉県立園芸専門学校創立
園芸学部の母体である千葉県立園芸専門学校が、園芸に関する高等の学術技術を教授することを目的とし、全国唯一の園芸の高等教育機関として創立された。
- 1929 昭和4年** 千葉高等園芸学校設置(国立移管)
千葉県立園芸専門学校は、大正3年に千葉県立高等園芸学校に改称後、昭和4年に県から文部省に移管され千葉高等園芸学校となった。
- 1949 昭和24年** 千葉大学園芸学部設置
昭和19年に千葉農業専門学校に改称された後、新制国立大学の発足に伴い、千葉大学園芸学部として承継された。新制国立大学の農学系学部は25大学に置かれたが、園芸学部は全国唯一であった。
- 1959 昭和34年** 創立50周年を迎える
- 1969 昭和44年** 大学院園芸学研究科設置
学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を修め、理論と応用の研究能力を養うことを目的に園芸学研究科(修士課程)が設置された。
- 2007 平成19年** 現在の4学科体制となる
現代のニーズに合った高い専門的な能力を身に付け、これからの社会づくりに貢献するべく、園芸・応用生命化学・緑地環境・食料資源経済の4学科を設置した。
- 2009 平成21年** 創立100周年を迎える
キャンパス内に「100周年記念戸定ヶ丘ホール」を建設。松戸キャンパスのランドスケープに関するシンポジウムが開催された。



大正4年に落成した講堂



食糧増産で畑になったサンクガーデン(昭和19年)



創立50周年記念祭のゲート(昭和34年)



創立100周年記念式典(平成21年)

園芸産業創発学 プログラム

次世代園芸プロフェッショナルを養成する 園芸学科及び食料資源経済学科の、 学科横断型新特別プログラム

※2年次より選択するプログラムとは異なり、入試時点から選択できるプログラムです。

植 物工場や大規模施設園芸をはじめとする次世代園芸産業の発展・展開を担うプロフェッショナル人材の育成を目指します。学内の豊富な施設を用いた教育に留まらず、国内外の企業での中長期インターンシップ・実践演習を行うことにより、グローバルな視点での日本の園芸産業を考える能力、かつ即戦力となる高い課題解決能力を身に付けます。農園芸産業及び関連技術に強い関心があり、将来農園芸ビジネスに関わりたい、あるいは自ら新たなビジネスを創りたいという意欲を持ち、日本の園芸産業の発展に強い志を持った人材を求めます。



個性的な入試

実技を含む1次選抜で合格内定者を選考し、2次選抜（共通テスト）を経て最終合格者を決定します。学力・知識に加え、意欲・理解力・思考力・想像力、コミュニケーション能力や将来の展望など総合的に評価します。

※令和6年度選抜は新型コロナウイルスの影響により、さらに選抜方法等が変更になる可能性があります。

1次選抜

模擬実習または 模擬実験

園芸作業に対する関心、意欲及び理解力ならびに植物に対する観察力を評価します。

模擬講義及びレポート

模擬講義の内容についての理解度や限られた時間に論理的に考えをまとめ、的確な言葉で表現できるかを評価します。

プレゼンテーション

直前に与えたテーマについて考察した内容を発表することにより、思考力、理解力、創造力、意欲を総合的に評価します。

面接

コミュニケーション能力、学習意欲、入学後に学ぶ分野についての広い関心、卒業後の将来計画について評価します。

2次選抜

合格内定者のうち、令和6年度大学入学共通テストで指定する以下の教科・科目の総合得点が概ね70%に達した者を最終合格者として決定します。

大学入学共通テストの指定教科・科目				
指定教科・科目		指定科目数	配点	計3科目 200点満点
理科②	物理、化学、生物、地学	1科目	100点	
	数学			
	数学I、数学A	1科目	50点	
	数学II、数学B	1科目	50点	

物理、化学、生物、地学において2科目受験している場合は、最も高得点の科目を利用します。

※上記以外の教科・科目を受験しても、本選抜には影響しません。

出願資格

次の①～③のすべての要件を満たす者

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ）を令和6年（2024年）3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む）及び令和3年（2021年）4月以降に卒業した者
- ② 令和3年（2021年）1月1日以降に受験した所定の英語外部検定試験・スコアの条件を満たしている者
- ③ 令和6年度大学入学共通テストで指定する教科・科目を受験する者

プログラム専門科目

※一般科目124単位に加え、
専門科目22単位（非卒業要件単位）を履修します。

1年次	2年次	3年次	4年次
園芸産業創発学プログラム演習I・II 国内の先進的園芸産地、企業の農業経営体、植物工場、市場、流通現場等の視察を行います。	園芸産業創発学プログラム演習III 研究論文や実用記事などを元にした事例研究・発表・ディスカッションや園芸生産現場の調査や課題探索、それに関するディスカッションを行い、基礎的な課題解決能力の向上を図ります。		園芸産業創発学プログラム長期インターンシップ 園芸関連企業、企業的農園芸経営体、植物工場等で6ヶ月間インターンシップを行います。このインターンシップでは、インターンシップ先でのプロジェクトや大学との共同研究に参画することにより、実践的な生産技術やビジネス及び国際感覚、課題解決能力の修得を行います。このインターンシップの成果が一定基準を満たせば卒業研究の単位として認められます。
園芸産業創発学プログラム入門 園芸産業（果樹、野菜、花卉を中心に）の現状と課題について生産技術面及び経営・経済面から1年次生向けにわかりやすく解説します。	園芸産業創発学プログラム栽培技術論 農場実習と連携し、果樹、野菜及び花卉栽培における生産技術理論に特化した講義を行います。		
	園芸産業創発学プログラム短期インターンシップ 企業的農園芸経営体や園芸関連企業等で2週間のインターンシップを行います。		
		園芸産業創発学プログラム基礎研究I・II 園芸産業創発学プログラム履修生は1年次の終わりに専門分野及び専門分野担当教員を決定します（一般の学生は3年次）。この科目では担当教員のもとで課題設定、調査・研究方法の習得、実験・実習・演習を行うとともに、設定した課題についての調査・研究を行い、その結果をまとめて発表をします。	



生産及び 経営全般に精通した 優秀なスペシャリストを 育成する

園芸産業創発学プログラム

大川克哉講師 OKAWA KATSUYA



平 成28年度からスタートした「園芸産業創発学プログラム」は、次世代園芸産業を牽引するプロフェッショナル人材を育成するために誕生した、新しい視点の特別カリキュラムです。

このプログラムの特色の柱のひとつが、園芸学科及び食料資源経済学科の学科横断型カリキュラムであること。学科の垣根を越え、双方の分野を幅広く学ぶことで、高度な生産及び経営技術と高い課題解決能力を持った優秀な人材を育成します。

従来の教育機関、とくに大学では学問領域が細分化されているため、「栽培技術」と「経済」の領域をまたぎ、バランスよく、かつ高度に学べる場はほぼなかったといえます。

しかし、近年は農家でも「生産するだけ」ではなく、「どのように売るか」といった、より戦略的なマネジメント力が必要となっています。また、法改正などにより、さまざまな他産業企業が、植物工場や施設園芸といった分野にビジネスチャ

ンスを感じて参入しています。日本の農業の担い手の高齢化に危機感をもつ飲食、食品、流通業界等の企業が、大学との共同研究や自社農園での生産に取り組むケースも出てきています。しかし、そうした現場に必要とされる生産技術と経営全般に精通したスペシャリストは、ほとんどいないのが現状です。

園芸産業創発学プログラムは、今、こうした状況に置かれた農業経営者や園芸産業関連企業に強く求められている、広い知見を備えた優秀な人材を育てるカリキュラムです。

半年から1年にも及ぶ長期インターンシップもこのプログラムの特色です。学生たちには国内外の園芸関連産業界で実際の仕事をしながら、自らも経営者の方とともに課題を考え、その解決に挑戦してほしいと考えています。また、さまざまな分野に精通されている外部講師陣による講義や、現場の視察などを通じて確かな力を養い、ぜひ園芸関連産業界の第一線で活躍していただきたいと願っています。



食と緑の最先端へ

日本の園芸学研究の中心として100年以上の歴史を持つ千葉大学園芸学部。変化する社会の課題に対応すべく、その研究領域は常に進化してきました。現在も、「食と緑」をキーワードに最先端の研究が繰り広げられています。

なぜ2つの精細胞は卵細胞、中央細胞と間違えずに受精できるのか？ 重複受精の謎を解明する



研究のキーワード

- 遺伝子組換え
- 細胞培養
- 細胞観察
- 生殖
- 発生

応用が想定される分野

- 育種
- 繁殖
- 物質生産

IGAWA TOMOKO
 千葉大学大学院自然科学研究科で博士号(農学)を取得。理化学研究所、奈良先端科学技術大学院大学等での研究員を経て、千葉大学大学院園芸学研究科准教授に就任。

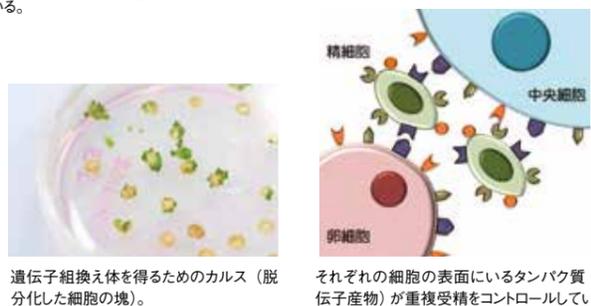
園芸学科 井川智子 准教授

重複受精の仕組みに残る謎

バイオテクノロジーを用いて、新しい植物をつくりたい—そんな思いから、生殖の仕組みを科学的に解明するとともに遺伝子組換え体の作出プロセスを簡略化する研究に取り組んでいます。現在市場に出ている植物のほとんどは、人間が意図的に改良を重ねてきたものです。そのひとつが交雑育種という古典的な育種法です。異なる遺伝子を持つ両親どうしを掛け合わせて雑種を得る方法で、植物の重複受精現象を利用しています。重複受精は被子植物だけが持つ有性生殖法です。2つの精細胞は卵細胞と中央細胞に直面すると、精細胞の1つは卵細胞と、もう1つは中央細胞と受精します。ですが、2つの精細胞が卵細胞と中央細胞をどのように見分けて、それぞれとの受精に至るのかについてはまだ多くの謎が残っています。

第3の受精因子を発見

近年、オスとメスの生殖細胞が出会ってから受精に至るまでに、互いを「認識」「接着」し、「融合」というプロセスがあることがわかってきました。そのうち「接着」「融合」にかかわる受精因子であるタンパク質が報告されていました。2つの精細胞はどちらも卵細胞または中央細胞と受精できるものの、正確に「精細胞と卵細胞」「精細胞と中央細胞」の2組のペアを成立させています。これには、オスとメスの間で行われる「認識」が深くかかわっていると考えられます。そこで生殖細胞で発現する遺伝子の中からDMP9という遺伝子に着目して解析したところ、遺伝子産物であるDMP9タンパク質は精細胞の表面に存在することがわかりました。さらにDMP9の遺伝子の発現を人工的に抑制した遺伝子組換え体をつくらせて解析した結果、卵細胞との受精が阻害され、DMP9が卵細胞との「認識」にかかわる新たな受精因子であることが判明したのです。DMP9を介して、卵細胞はひとつの精細胞とだけ接着したことを確認していると推測されます。これまで発見された受精因子はすべてオス側の因子であり、メス側の因子はまだ発見されていません。重複受精の謎をひとつずつ解明し、その知見を後世に残していくとともに、新たな遺伝子組換え法に活かす挑戦を続けています。

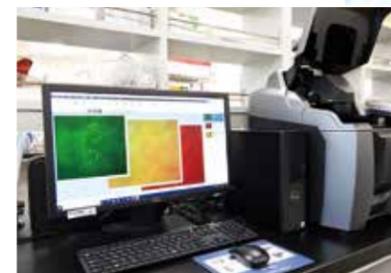


植物の脂質を貯蔵する油滴

脂質は、植物のもっとも重要な構成成分の一つです。根、茎、花とあらゆる細胞をつくる生体膜の主成分として使われるほか、発芽のためのエネルギー源としておもに種子に貯蔵されます。植物の脂質を貯蔵するための細胞小器官が、油滴（＝脂肪滴、オイルボディ）です。私はとくにこの油滴に着目し、研究を行っています。植物は発芽し、葉を展開すると種子にためた脂質のほとんどを細胞の生体膜を作るために使ってしまうため、貯蔵脂質はぐっと少なくなります。しかし、環境的、生物的要因によるストレスを受けたときなど、状況によって葉に油滴が増えることがあります。なぜ種子ではなく、葉に脂質をためるのか？ 長らく謎に包まれていたその存在意義が、私たちの研究によって徐々に明らかになってきました。

油滴のタンパク質は、植物にとっての「道具」

まず、油滴は単なる油の粒ではありません。そこには多様なタンパク質が存在し、機能を発揮していることがわかってきました。いわば油滴のタンパク質とは、植物にとっての「道具」です。たとえば、油滴タンパク質の一部は、カビの感染により誘導され、抗菌物質を作ることがわかりました。脂肪酸を酵素の働きで代謝して、カビに対抗する抗菌物質に作り替え、植物自らが病害の原因となるカビを排除していると考えられます。そのほか葉の油滴は、過剰な脂質の隔離場所として機能していることもわかっています。つま



ベンサミアナタバコの葉の表皮細胞内。蛍光タンパク質が油滴について光るよう形質転換したも。

り、不要な脂質を安全に確保しておく上で、非常に重要な機能を担っているのです。今後は、油滴量が増加した植物の発見と解析を行っていきたいと考えています。私たちは、葉の油滴量および脂質含量が増加したシロイヌナズナ変異体を見つけることに成功しています。これらの変異体を解析することで、脂質合成の制御がどのように行われているのかが明らかになると考えています。油滴成分の解析により、新たな抗菌物質の発見、利用につながることや、ストレスや病害に強い植物の作出につながることも期待できます。



実験植物は基礎研究を行いやすいシロイヌナズナを用いている。

謎に包まれた葉の「油滴」 その驚異の機能を解き明かす

塩化ナトリウムを含んだ培地でストレスを与え、油滴の形成との関係性を探る。



応用生命化学科 島田貴士 准教授

研究のキーワード

- 植物脂質
- シロイヌナズナ
- 油滴
- 顕微鏡
- 突然変異体

応用が想定される分野

- 植物脂質の増産
- ストレス応答と油滴
- 病害に強い植物の作出

SHIMADA TAKASHI
 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了。京都大学大学院理学研究科日本学術振興会特別研究員 (PD)、東京大学大学院理学系研究科特任研究員、自然科学研究機構・基礎生物学研究所特任研究員を経て、現職。



リモートセンシング技術で森林を モニタリングし、 世界の生態系研究をリードする

緑地環境学科 加藤 顕 准教授

自然保護と保全との線引きは単純ではない

自然を保護するとは、どういうことだと思いますか？ 森を守るためには、木は1本たりとも切るべきではないと考える人もいます。ところが、木をまったく切らず自然のままに任せていると、木が密集しすぎて大規模な森林火災を引き起こすことになるのです。そもそも森林火災とは、自然現象のひとつ。どこでも起こりうるものです。どんな大木もいつかは必ず倒れます。こうして自然のサイクルは回っているのです。人間がこれを阻もうとすると、この大きなサイクルが狂うことになる。つまり冒頭の例は、人間が自然環境に関与したことで、本来自然現象であった森林火災がコントロールできなくなっていることを示しているのです。このように、自然環境「保護」と「保全」「管理」との線引きは簡単にはできません。

地球は意思を持ち、自らコントロールしている

地球温暖化による気候変動が問題になっています。温暖化を防止するには、その影響がもっとも大きいとされる二酸化炭素の濃度を増加させないこと、そして地球上の二酸化炭素の吸収源として大きな役割を果たしている森林を守ることが重要です。そのために私は衛星画像や地上レーザーセンサー、ドローンなどによる「リモートセンシング」という技術を駆使して広い地域の森林を効率的に測定し、そこから得られた3次元データを使って森林の量や質、形状変化をモニタリングしています。

すると興味深いことがわかってきました。森林火災が起きたあと、1年半くらい経つと森林が回復しているのです。イギリスの科学者ラブロックは、地球はひとつの意思ある生命体であるという「ガイア思想」を提唱しましたが、この緑の回復もまさにそのひとつで、地球が自分で傷を治しているのではないかと考えられるのです。私はリモートセンシング技術を使って、このサイクルを可視化したい。科学を突き詰めていくことで、人知を超えた領域に到達できるとすれば、研究者として無上の喜びです。



研究のキーワード

- リモートセンシング
- 森林災害
- 3次元
- レーザー
- 気候変動

応用が想定される分野

- ランドスケープ
- 農林業
- リモートセンシング

樹木の形状を「地上レーザーセンサー」で計測し、3次元のデジタルデータとして取得する。

KATO AKIRA
米国ワシントン大学大学院森林資源学部より博士号取得後、千葉大学大学院園芸学研究所准教授に就任。レーザーを用いた研究に対して2008年アメリカ写真測量学会から賞を受賞。2020年度千葉大学先進学術賞を受賞。



千葉大学西千葉キャンパス森林スキャンニング技術による動画。



森林火災前後での3次元データ時系列解析例。
※特許第6635649号 データ重ね合わせプログラム及びデータ重ね合わせ方法

障害者と社会をつなぎ直し、 「誰一人取り残さない世界」を

食料資源経済学科 吉田行郷 教授

農業と福祉がお互いに助け合う仕組み

私が研究している「農福連携」とは、農業サイドと福祉サイドが連携して農業分野で障害者の働く場をつくらうとする取り組みです。今、日本の農業は高齢化、過疎化による担い手不足といった深刻な課題を抱えています。いっばう、働きたいという意思があるのに働く場がない多くの障害者の方が存在します。農福連携はこうした困っている者同士が協力することで、誰かの既存の利益を損なうことなく、多くの社会課題を解決できる可能性がある取り組みです。

日本の障害者雇用の状況を見ると、企業には従業員の2.3%以上の障害者を雇用することが義務付けられていますが、この水準は先進国の中で一番低いにもかかわらず約半数の企業で達成できていません。その背景には、高度経済成長期に企業は障害者雇用をしなくてもよかったことがあり、障害者を社会から切り離して保護するという形で障害者福祉が行われてきたことも要因として考えられます。

農業と福祉をつなぐ役割の必要性

農福連携の取り組みも、農家の人と障害者施設側が相手を知らないため、お互いに「できないだろう」という思い込みが障壁となり、なかなか広がっていませんでした。そこで必要だったのが、双方の間に入って、「お見合い」のセッティングをする人です。2010年、鳥取県で、農業者と障害福祉サービス事業所をマッチングする「農福連携モデル事業」が始まりました。この動きが各県に広がり、現在、32府県に農福連携のコーディネーターが配置されています。農林水産省でも研究チームが立ち上げられ、農福連携の研究が本格的に始まりました。

また、農福連携の取り組みを持続的なものとして成り立たせ、障害者の方にきちんと労働対価が支払われる仕組みづくりを広げていくことも重要です。農作業の請負だけではなく、福祉事業所が自主事業として本格的に農業に取り組む事例も増えてきています。

今後、農福連携の流れがますます大きくなっていくことは間違いありません。農業という一次産業によって、高度経済成長期に綻んだ社会と障害者の関係をつなぎなおすことが、農福連携の研究の根幹と考えています。

YOSHIDA YUKISATO
東京大学農学部農業経済学科卒業、農林水産省に入省。その後、農林水産政策研究所を経て、千葉大学大学院園芸学研究科教授。

福島県泉崎村の社会福祉法人こころんが取り組む平飼養鶏。有機野菜栽培、自然栽培の稲作にも取り組む。



研究のキーワード

- 農福連携
- 障害者
- 農村コミュニティ
- ケアファーム
- マーケティング

応用が想定される分野

- 障害者の活躍の場の拡大
- 農業労働力不足
- 耕作放棄地の解消
- 農村コミュニティの再生



群馬県前橋市にある社会福祉法人ゆずりは会・菜の花での田植えイベントの様子。



今後も発展が期待される「ソーシャルファーム論」は必修科目となっている。

入学者受入れの方針 Admission Policy

園芸学部の教育理念は、「自然との調和、生物及び緑地環境を対象とする教育・研究を通して豊かな人間性を涵養すること」です。このため園芸有用植物を中心とする生物資源の生産と利用、関連する産業の経営や流通、自然環境の保全と快適な生活環境の創造等の諸問題に対して広い視野に立って理論的かつ実践的に対応できる能力をもつ人材を養成するとともに、国際的に通用する能力を涵養します。

園芸学部の求める入学者

1

「食と緑」の領域に好奇心をもって取り組み、新しい発見と創造にチャレンジする意欲のある人

2

高等学校までに学ぶべき事柄を幅広く修得している人

3

入学後の学修において必要となる基本科目に関する基礎学力を有している人

4

他者と協力して物事に取り組むのに必要なコミュニケーション能力と学力を有している人

5

専門技術者として、グローバルな視点、地域の視点にたって社会貢献しようとする熱意のある人

入学までに身に付けてほしいこと

- 学習指導要領等に示された、高等学校において学ぶべき科目を幅広く履修すること
- 入学後の学修において必要となる基本科目の基礎学力を養うこと
- 他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身に付けること
- 広く社会に目を向け、幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する好奇心を高めること



サポート体制

千葉大学園芸学部では、学生が安心して学業に専念できるように、奨学金システムなどの支援制度や、学生寮、進路の相談ができるキャリアサポート室などを設置し、サポートに力を入れています。

新入生導入セミナー

新入生の導入セミナーを少人数で4ヶ月かけて行います。入学した年の4月から7月にかけて、教員1名に対し6-7名くらいのグループを作り、大学での履修や将来のキャリア形成に向け、少人数指導体制で、セミナーを行います。順調な大学生活のスタートをサポートします。



進路・就職

各企業の求人案内など就職関連資料を閲覧できるブースや、面談スペースがあり、就職に関するあらゆることを相談できます。就職ガイダンスや説明会の開催も行っています。



奨学金

日本学生支援機構奨学金制度のほか、地方公共団体、民間育英団体等の奨学制度により、人物・学業ともに優れ、かつ、経済的理由のため修学困難な場合は奨学金を申請することができます(外国人留学生以外の学生対象)。

奨学金の種類と貸与月額は、日本学生支援機構のHP等をご確認ください。

私費外国人留学生対象

日本学生支援機構の学習奨励費や各種民間奨学金給付の募集があります。これらの奨学金に応募する場合、毎年所定の時期(新入生は入学手続き時)に登録を行う必要があります。

学生寮

学生寮は、経済生活上の援助だけでなく、集団生活を通じて、社会人としての人間形成に寄与する場であり、勉学にふさわしい環境を提供し、良識ある学生としての生活を体験できるように建物・敷地等を整備しています。

松戸地区

浩気寮 所在地:松戸市松戸648
定員:男子42名 女子20名



大学院生による指導

大学院生による学部学生の指導が行われています。レポートの作成、卒業論文の作成において、教授などに聞くまでもない、でもわからない些細な質問は大学院生に聞くことができます。



園芸学科

幅広く体系的な知識で
未来の地球環境を支える



園芸植物の生産に関わる栽培技術やバイオテクノロジー、植物を取り巻く生態、物理的・化学的な環境の管理方法の開発などを学びます。基礎から応用までの知識と技術を発揮できるエキスパートを養成しています。

特徴1

2つのプログラムで
幅広い視野を培う

「栽培・育種学プログラム」と「生物生産環境学プログラム」の2プログラムを用意。栽培知識の拡充だけでなく、育種から生産過程、生物の生産に関わる物理的・生物的・化学的環境の構成要素など、さまざまな場面で知識と技術が発揮できるエキスパートを養成します。

特徴2

栽培・育種学プログラム

伝統的な園芸作物のほか、葉草や機能性植物を含む広義の園芸植物生産における最先端の栽培・管理知識と技術、および品種改良や遺伝子操作技術について学びます。また、それらの知識に基づいた育種プログラムや環境調和型施設栽培技術の開発に関連する教育・研究を行います。

特徴3

生物生産環境学プログラム

生物の生産に関わる物理・生物・化学環境についての理論を中心に、生物生産環境の創生・管理に応用できる知識を幅広く学びます。また、気象や土壌、そこで生産、使用される物質の挙動・循環、植物の生理生態・病理や利用法、昆虫・微生物についても教育・研究を行います。

都市環境における園芸産業の実現を目指す それが『未来の農業』にもつながる



齋藤隆徳助教
SAITO TAKANORI

園芸学科は、わが国唯一の国立大学園芸学部として蓄積した教育資源に加え、教育スタッフやカリキュラムが園芸に特化しているため、園芸に関する豊富な知識・技術をより深く学ぶことができます。このような環境での学びは、園芸産業や農林水産業のエキスパートを目指すうえで大きなメリットになります。園芸学科の学生も、試験研究機関や園芸関連企業への就職や進学を通じて、園芸の行政、産業、研究の現場で活躍したいという志を持つ学生が多いという特徴があります。

本学科では、都市環境における園芸産業の実現をメインテーマに、園芸植物の先端栽培技術とその理論、それらを支えるバイオテクノロジーなどを学んでいきます。加えて、植物を取り巻く生態的、物理的・化学的環境についても学ぶことで、高度集約型農業や環境調和型農業の実現を目指します。そのうち栽培・育種学プログラムでは、園芸植物の高度な栽培技術や品種改良に関する先端技術を中心とした総合的な知識を、生物生産

環境学プログラムでは、園芸植物を取り巻く気象および土壌環境のほか、そこに生息する昆虫や微生物に関する総合的な知識を学びます。私が担当する植物生理学では、植物の成長や環境応答についての基礎知識を学ぶことで、園芸植物の多様な生理現象を理解するための下地を身に付けていきます。また農場実習では年間を通して野菜や果物、花卉の栽培管理やその加工を行い、園芸植物の栽培や利用に関する技術を習得します。

本学科での学びは、企業的大規模生産や高度集約農業、環境調和型農業といった次世代を担う園芸技術につながっています。こうした技術・知識は、わが国が抱える農業の国際競争力の強化や自給率の向上といったグローバルな課題のみならず、環境にやさしい園芸生産の実現といった産業界が抱える課題の解決にも貢献するのです。植物だけでなく、『未来の農業』を多様な観点から学ぶとともに、これら未来の農業が抱えている課題と一緒に研究・解決していきましょう。

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
2プログラム共通	普通教育科目 外国語 各種教養科目 (情報、スポーツ、 一般教養など)	外国語		
	専門基礎科目 園芸学セミナー 生物学A 農場実習I	技術者倫理 生物学基礎実験3・4		
	専門科目 栽培・育種学概論 生物生産環境学概論	植物生理学 植物栄養学 作物学総論	生物統計学	専攻研究
栽培・育種学プログラム			栽培・育種学実験 果菜栽培論 飼料・工芸作物学 食用作物学 植物分子生物学 細胞遺伝学 花卉品種生態学	
	専門科目	遺伝学 蔬菜園芸学総論 果樹園芸学総論 花卉園芸学総論 植物細胞工学		
生物生産環境学プログラム		土壌学 農業気象・環境学 植物保護学 植物環境工学 化学生態学	生物生産環境学実験 土壌微生物学 害虫防除論 植物環境制御学 肥料学 食品工学	
	専門科目			

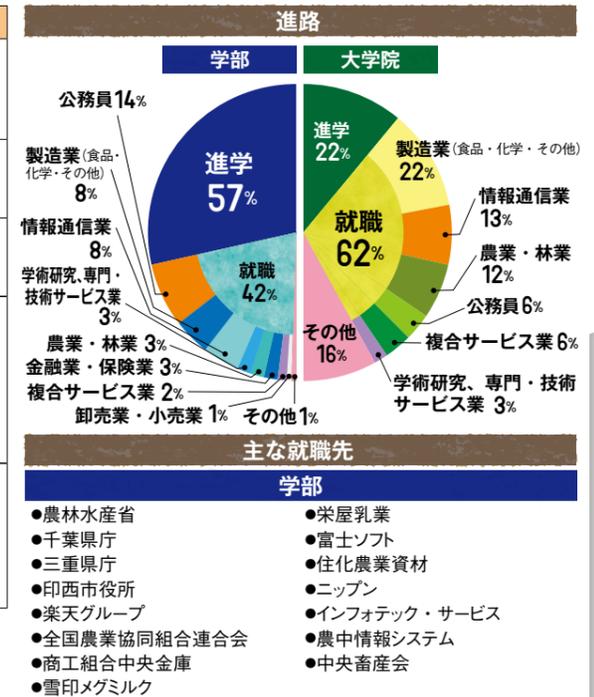
学生から受験生への message メッセージ

植物を分子から畑まで
理解することで、人類
ひいては地球の未来を共に
見据えます。
和田拓也

他のどの
キャンパスよりも
緑豊かで、
リラックスできること
間違いなしです！
山本理紗子

自然溢れる
キャンパスで
4年間楽しく過ごせるよう
に、基礎基本を大切に
頑張ってください。
野久尾圭太

さまざまな切り口から
園芸を捉えることで
自分の生きる
世界を見る目が
変わると思います。
谷道琢朗



Student's Voice



園芸学科
生物生産環境学プログラム
会沢千宙
AIZAWA CHIHIRO

飢餓や貧困の根本にある「食」。 解決には多様なアプローチがある

学んでいる内容を大別すると、栽培・育種と、植物を取り巻く環境に着目する生物生産環境学です。なかでも「植物病理学」が印象に残っています。世界の主要な植物病害を学び、その被害の大きさに衝撃を受けると同時に、植物だけでなく、植物を取り巻く環境を制御することの大切さを痛感しました。入学前は食料問題を解決するために食料の生産性を上げたいという漠然とした思いしかありませんでしたが、学ぶうちに同じ「食」という観点でも問題を解決するには多くのアプローチがあることを知りました。作物自身を改良する、病害を減らす、施設栽培にして育つ環境を改良する、あるいは土壌を改良するなど、今後何をテーマとして研究するのが考えていきたいと思っています。

時間割履修モデル 3年第1ターム

	1	2	3	4	5
月			栽培・育種学専門実習		
火	飼料・工芸作物学	花卉開花制御論		栽培・育種学実験	
水	果菜栽培論				
木					就職ガイダンス
金	飼料・工芸作物学	花卉開花制御論			

応用生命化学科

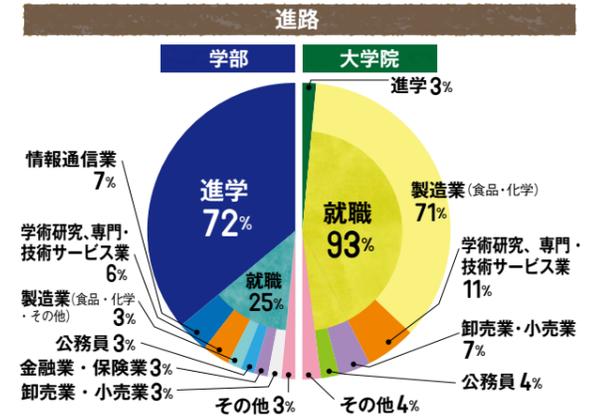


生物機能を生物学的・化学的に 解明し諸問題の解決に挑む

微生物や植物、動物を用いた生命資源の有効活用を目的に、生物の機能、細胞の構成物質、代謝生産物などの性質を総合的に学びます。食料・資源・環境など、人類が直面している諸問題を解決できる人材の育成を目指します。

カリキュラム 応用生命化学プログラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
普通教育科目	外国語 各種教養科目 (情報、スポーツ、一般教養など)	外国語		
専門基礎科目	応用生命化学セミナー 基礎化学A・B 生命技術者倫理 生物学A 地学概論A・B 物理学の世界 物理学入門 統計学 線形代数学A 微積分学A	専門基礎英語A・B 化学基礎実験I・II 生物学B 生物学基礎実験C・D 物理学基礎実験I・II		
専門科目	生物化学 分子生物学	科学英語A 基礎微生物学 有機化学 食品化学 植物代謝生理学 応用微生物学 酵素化学 分析化学 分子生体機能学 食品衛生学 生物化学実験 微生物工学実験 生物有機化学実験 分子生物学実験	科学英語B 栄養化学 生物資源利用学 生物有機化学 環境微生物学 バイオテクノロジー論 生物物理化学 Scientific Presentation 食品栄養学実験 植物分子機能学実験 応用生命化学専攻実験 食品製造実習	専攻研究



- ### 主な就職先
- 学部**
- 国土交通省
 - NTT データ・フィナンシャル・ソリューションズ
 - 日本エマルジョン
 - エイソールヘルスケア
 - NMS エンジニアリング
 - エムスリーキャリア
 - 高山
- 大学院**
- 東京都庁
 - ハウス食品
 - 伊藤ハム
 - 丸美屋食品工業
 - カルビー
 - 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
 - 国立研究開発法人科学技術振興機構
 - ヒゲタ醤油
 - ノエビア
 - 理研ビタミン

特1 徴

総合的な知識を学ぶ

「生命」「食品と健康」「バイオマス」「環境」をキーワードとして、生化学、食品化学、微生物学、分子生物学、有機化学などに関する基礎学力を身に付けます。また、大学院進学者に対しては、バイオサイエンス研究者として育成します。

特2 徴

応用力を育成する教育

生物の持つ多様な機能を分子、細胞、個体、群集のレベルで探求する意欲を持つ学生に対して、知識・技術とその応用力を育成する教育を行います。プログラムを通じて、社会貢献できる意欲と実力のある人材の育成を目指します。

特3 徴

生物資源の有効利用を目指して

新たな有用生物や生理機能分子を探求・発見し、その特性を明らかにします。また、それらの生物や分子の機能発現メカニズムを、生物個体あるいは生態系を対象として化学的手法、分子生物学的手法によって究明し、更なる社会の要請に応えていきます。

学生から受験生への message

メッセージ

個人的な仲間と一緒に生命科学を「楽しく」「真面目に」学びましょう！

松島優一

高い意識を持った仲間と共にとことん学びに打ち込める、環境の良さが自慢です。

太田愛理沙

私は微生物がだーいすきになりました！みんなも自分のイチバン見つけよう☆

板谷かえで

生物や化学を中心に基礎から学びます。外国語や教養科目も充実していて楽しく学べます！

牧原佐代子

広く深い生物化学分野の学問を、ともに学んでいきましょう！

矢田優佳

生物全般の生体反応について 多様な視点から学ぶ

宮原 平講師
MIYAHARA TAIGA

応用生命化学科では、微生物から動植物まで生物全般の生体反応について多様な視点から学ぶことができます。たとえば代謝経路ひとつをとっても、遺伝子発現からタンパク質合成、酵素反応、シグナル伝達などたくさんの現象が複雑に絡み合っています。こうした生体機能の仕組みについて、専門性の高い講義を受けることができます。

私が専任で担当しているのは生物物理化学で、生体における化学反応が熱力学の観点からなぜ自発的に起こるのかについて解説しています。生体が活動するためのエネルギーは化学反応により生産されていますが、そのエネルギーを得るには多岐にわたる条件を維持する必要があります。このような反応の場としての環境を理解することで、他の授業で得た知識の理解をさらに深めることができます。加えてこれ以外にも、化学や英語、植物の代謝に関する授業をオムニバス形式で担当しています。私の授業は基礎科目から専門科目への橋渡しのよう

な内容が多いので、1、2年次での授業で基礎学力をつけて、専門科目での理解を促す役割となっています。また、私のメインとなる研究テーマは植物色素の生合成経路の解析です。主にアントシアニンを蓄積する園芸植物や野菜などを対象として、どのような酵素によりアントシアニン構造が合成されているのか、どのようにして新たな色彩を作り出すことができるのかについて研究しています。社会が抱える食料・健康・環境・エネルギー問題等の諸般の課題への取り組みは、すべて生体反応についてよく考察することからはじまります。まさにこの生体反応について専門的に教育や研究をしている本学科での学びが、直接的にこれらの課題解決に貢献する力となります。コロナ禍で学習のモチベーション維持に苦労している人も少なくないと思いますが、将来像が明確であれば突破すべき課題も見えてきます。ぜひ、私たちとともにさまざまな研究課題に取り組みしましょう。

Student's Voice

授業や実験で幅広い分野を学ぶなかで、 追求したいものが見えてきた

応用生命化学科 須山優理乃
SUYAMA YURINO

応用生命化学科では農学部と理学部が融合したような授業や、植物や微生物、人体や酵素、化学反応などの園芸要素を踏まえた授業を履修できるのが魅力です。私は食品開発、とりわけ醸造に関心があるので、微生物の性質や動きを利用してつくられる食品について学ぶ基礎微生物学や応用微生物学は興味深いです。醤油や酒など、かかわる微生物の種類が違うとその働きも変わってきます。そうした微生物の特性を知るのは手ごたえがあります。学ぶにつれて食品開発でも追求したい分野が明確になる一方で、違う分野に興味を持っている学生からも多くの刺激を受けています。将来は、フードロスの解決やサステナブルな社会づくりに貢献したいと考えています。

	1	2	3	4	5
月		栄養化学			
火	バイオテクノロジー論	生物資源利用学	応用生命化学科開講実験 (食品栄養学・植物分子機能学実験)		
水	物理化学				
木		栄養化学			
金	バイオテクノロジー論	生物資源利用学			

緑地環境学科



エコロジカルで快適な環境の 保全・創造を目指す

人間が自然と共生し、快適に生活する上で必要な環境を創るための理論と実践を学びます。その分野は、自然環境の仕組みの解明と保全・再生、緑地空間活用の理論と技術、環境の文化史、心身の健康への緑の活用などです。

特1 徴

環境造園学プログラム

緑地環境分野における自然科学的側面と文化芸術的な側面を統合する空間形成および管理の技術と理論を中心に学びます。庭園・公園等の緑地や都市・農山村の計画・整備、自然環境保全を図りながら、人と自然が共生する環境を美しく計画・整備・管理・運営できる技術者を養成します。

特2 徴

緑地科学プログラム

緑地分野の自然科学的側面、すなわち緑地環境システムやそのモデル化、緑地形成に関する工学的技術および緑地の造成と管理に関する相互補完的な体系を総合的に学びます。またそれらの知識をさらに展開させるため、生物学と地学に関するフィールドワークを基礎にした教育・研究を行います。

特3 徴

環境健康学プログラム

園芸療法やアロマセラピー等の療法的・福祉的な植物の利用や、医療福祉施設の緑化、薬用資源植物、環境教育等に関する教育研究を行い、緑地環境・園芸の知識や技術の上に健康や療法に関する知識を付加し、QOLの向上やストレス緩和など、人と環境のより良い関係構築を実現できる人材を育成します。



霜田亮祐准教授
SHIIMODA RYOSUKE

社会問題に貢献できる環境造園学 ランドスケープの将来性は高い

私はアメリカのハーバード大学のデザイン大学院留学後、国内外のランドスケープ設計事務所等で、大学の研究とも連携した設計活動を継続しています。これまで伊勢神宮式年遷宮記念せんぐう館のランドスケープ、大阪・天王寺公園活性化プロジェクト「てんしば」などさまざまなプロジェクトの設計を行ってきました。本学ではこれまでの研究や計画の設計実務経験を生かし、「国際的連携による都市・地域再生と持続可能性についての研究と、そのランドスケープデザインの実践的教育」を行っています。特にこの数年は、地方寺における自然葬地計画や東北の地方都市における人馬一体の地域再生など広域スケールの空間を対象としたフィールドワークを通じて、災害復興や都市・地域再生のための自然・地域環境構造を母体とした風景計画「ランドスケープ・リージョナリズム」を提唱・実践しています。緑地環境学科の学びのテーマは「ランドスケープ学」です。風

景（ランドスケープ）とは、地域に培われた時間と空間の広がり、そしてそれらを眺める人間との間に立ち現れるイメージともいえます。ランドスケープの計画は、それらが成り立つ地面と向き合うことから始まります。同時に周囲にも目を配り、場所にかかわる環境系を理解することも大切です。ランドスケープは人間にとって心地良い居場所である土地や空間のあり様なのです。超高齢化が進む日本は今後多死社会を迎え、墓地のあり様は大きな課題となるでしょう。都心では墓地が不足し、郊外や地方では「墓地のスプロール」により環境破壊が進行しています。こうした社会的課題に対して自然環境を再生し、地域のランドスケープの一部となり得る樹木葬のような自然葬地の計画・デザインに環境造園学（ランドスケープ・アーキテクチャー）の技術・学術は大いに貢献できるでしょう。ランドスケープを考えることは、これまで分断していた世界に関係性を創るということであり、将来性は高い。ぜひ、本学でランドスケープについて学んでいきましょう。

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次プログラム共通	普通教育科目	外国語 各種教養科目	外国語	
	専門基礎科目	数学(微積分学など) 生物学A 地学概論A・B 緑の環境を育む 緑地環境学基礎実習 緑地環境学セミナー	環境職業倫理学 環境マネジメントシステム実習 生物学B	
	専門科目	植物形態分類学 植物形態分類学演習	庭園デザイン学 緑地植物学 緑地福祉学 環境植栽学 自然環境保全学 都市緑地学 緑地環境管理学 緑地環境学実習	樹木医学 インターンシップ 安全管理・野外救命法
環境造園学プログラム		都市計画学 造園学原論 環境ガバナンス論 ランドスケープ空間表現学 公園デザイン学 建築学 造園図学 ランドスケープ設計論 環境造園実習I	風景計画学 農村計画学 環境文化史学 緑地環境機能学 緑政学 地域再生計画学 都市緑地計画学 造園植栽管理学 構造力学 環境造園実習II・III	環境造園実習IV
緑地科学プログラム		群落生態学 緑地土壌学 緑地環境情報学 緑地気象学 緑地科学実験実習I・II 応用数学 森林管理学 生態遺伝学	緑地環境工学 再生生態学 野生動物保護管理学 流域環境工学 GIS利用論 森林管理学 地被植物学 緑地科学実験実習III・IV	
環境健康学プログラム		インタープリテーション論 東洋医学と未病 こころのケア-精神医学 環境健康学実習I 環境教育学概論	高齢者介護論 園芸療法論 健康機能植物学 地域看護学 福祉デザイン論 環境健康学実習II 環境健康学演習	

学生から受験生への message メッセージ

環境に関わることを勉強したいと思っている地理好きな方にはオススメな学科です。

笹原洋平

緑地環境学科で学ぶと公園やまちの見え方が一変し、まち歩きが楽しくなります！

武田奈緒

穏やかな日にフランス式公園の芝生の上でするひなたぼっこは気持ちいいです。

丸山なつめ

緑地環境学科では緑をデザインや生態などさまざまな観点から学ぶことができます！

鍋島敦仁

緑豊かなキャンパスなので、植物や環境について実際に触れながら学べます。

廣瀬雅人

Student's Voice



緑地環境学科
環境健康学プログラム
小西乃愛
KONISHI NOA

植物がもたらす効果を生かし、 人や自然に寄り添った環境を作りたい

本学科では大きく造園・科学・健康の3つの分野を横断的に学ぶことができ、緑に関して非常に幅広い知識を得ることができます。3つの分野は独立しているようで、互いに密接に関わり合っており、授業で先生方の話を聞くうちに多角的な視点を得ることができていると感じます。現在学んでいるのは、人の健康や生活の質を向上させるための緑の活用方法や環境教育など。授業を受けるたびに植物の生態や植物を活用する方法などについて新たな知見を得て、毎日が発見の連続です。なかでも緑地福祉学では、これまで知らなかった植物が人の身体的・精神的健康にもたらす効果やそのさまざまな活用方法について学び、植物と健康の関係について関心が高まりました。

時間割履修モデル 2年2ターム

	1	2	3	4	5
月	緑地土壌学			英語II (学術情報)	
火	環境植栽学	庭園 デザイン学	緑地環境学実習		
水			水域生態学		
木	緑地土壌学		英語II (報道英語)		
金	環境植栽学	庭園 デザイン学	ランドスケープ 空間表現学		森林管理学

食料資源経済学科

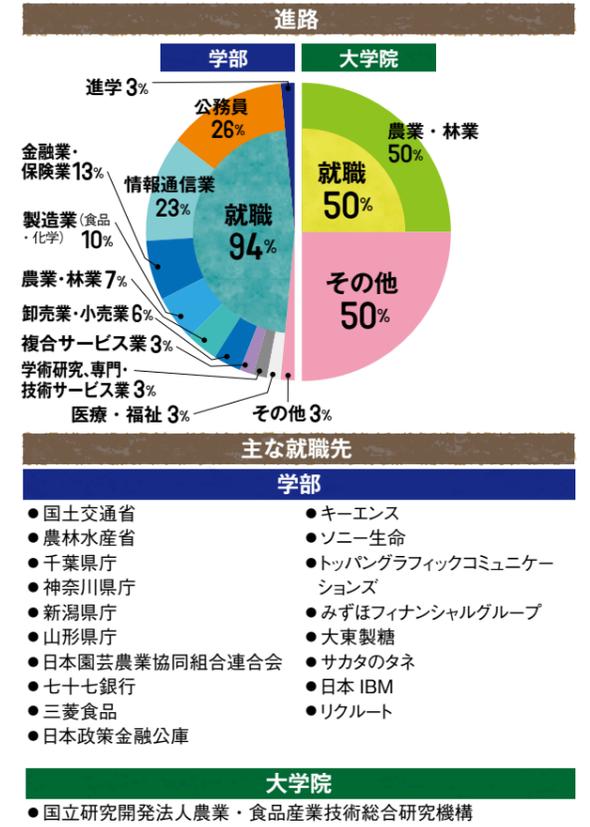
社会科学の視点から
フードシステムへアプローチ



農学と社会科学の視点から、
フードシステム全体（生産・流通・消費）を的確に理解して
評価できる人材、環境・農業・地域・開発に関する施策や
プロジェクトの立案と評価ができる問題解決能力を持った
人材の育成を目標としています。

カリキュラム 食料資源経済学プログラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
普通教育科目	外国語 各種教養科目 (国際・数理・データサイエンス、スポーツなど)	外国語		
専門基礎科目	農業経済学概論 食料資源経済学セミナー 経済学 線形代数 微積分学 統計学 社会学			
専門科目	農業経営学 経済学基礎理論 園芸作物管理・収穫実習	比較農業環境論 応用統計学 フードシステム学 アグリフードビジネス論 園芸作物栽培・加工実習 ソーシャルファーム論・演習 データアナリシス	資源計量経済学 消費者行動論 食品マーケティング論 フードシステム学特別講義 フードシステム学演習 資源環境経済学特別講義 Economics of Rural Resource Management	卒業研究 専門演習 1・2



学生から受験生への message メッセージ

選べる授業の幅が広く、
留学しやすい自由な学科です！
小坂友菜

農学と社会科学が融合した
学科。海外に目を向ける人が
多いのも特徴的です！
宮浦晃希

経済、農業と幅広く
学ぶことができます。
さまざまなことに興味
がある人におすすめです。
笠原佑希子

農場実習で学科の
仲がより深まるよ！
塩谷紀子

学科の人数が
少ないので、
団結力があります。
漆島侑大



特 1 徴

問題解決能力の修得

国内外における食料・農業・生物資源・環境にかかわる問題、さらに食品産業を含む広い意味でのフードシステム全体の課題を、経済学やマーケティング論などの社会科学の理論にもとづいて分析・考察する能力を修得。特定の領域に焦点を当てた専門知識を身に付けた人材育成を目指します。

特 2 徴

バランスのとれた 視点を養う

近年の食料や資源に関する問題は、複雑であり、多面的視点からのアプローチが必要です。社会科学や統計学といった分析手法だけでなく、関連する自然科学の基礎についても学習し、バランスのとれた視点から物事を考える力を養います。

特 3 徴

持続可能な社会のために

環境破壊や食の安全性、資源管理、食料の安定供給などは、持続可能な社会の実現のために解決すべき重大な課題です。現代社会における食料および農村資源や環境の役割と意義について学び、社会のあり方と個人の役割について社会科学の知識を活かし、積極的に行動する意欲のある人材を育成します。

「食」に関するさまざまな 問題の解決に貢献しています

食料資源経済学科では、食品産業や農業・農村の現状と課題を的確に分析するために、経済学や経営学、それに基づいた専門知識、データ分析手法などを学びます。これにより、私たちの生活に欠かせない「食」をめぐるさまざまな問題の解決に貢献できることが本学科の一番の魅力です。本学科には、フードシステム学と資源環境経済学の2つの専門分野があり、それぞれ多様な課題の解決に取り組んでいます。フードシステム学分野では、食料の安定供給や安全性の確保、食生活の改善、食品に対する多様な消費者ニーズへの対応などの課題が、資源環境経済学分野では、希少な農村資源の適切な管理や保全、持続的な経済開発などの課題が挙げられます。そのなかで、私が担当するアグリフードビジネス論では、食生活の変化や食品産業の現状、世界の農産物貿易、食品に対する消費者ニーズの多様化などについて総合的に学習します。これによって、農業や食品に関連するビジネスや産業を取り巻く状

況や課題についての理解を深めることができます。

近年、作物の高収量・高品質化を実現するために、園芸分野では植物工場やゲノム編集などの革新的な技術に注目が集まっています。新技術に対する科学者や食産業の期待は大きい一方、一般消費者の理解はまだ進んでおらず、誤解したり不安を抱いたりする人は少なくありません。私は、こうした技術に対してどのような疑問や不安があり、それらを解消するにはどうすればよいかを統計的分析手法を用いて研究しています。技術に対する理解が深まれば、それらを受け入れやすくなり、よりよい社会を実現できると考えます。

食料や環境、資源に関する諸問題の重要性はますます高まっており、非常にやりがいのある研究分野です。また本学科で学ぶ経済学や経営学、統計学などは幅広い分野の仕事に役立つ学問であり、食品業界や行政に限らずさまざまな分野で多くの卒業生が活躍しています。興味のある方はぜひ食料資源経済学科と一緒に学びましょう。



矢野佑樹講師
YANO YUKI

Student's Voice



食料資源経済学科
食料資源経済学プログラム
吹上有紀
FUKIAGE YUKI

食料問題に貢献したい。 食を軸に農業と経済をバランスよく学ぶ

食料資源経済学科では経済分野と農業分野のバランスが
取れた科目が多く、生産者から消費者へと食料が届けら
れる一連のプロセスや、販売時の価格設定の手法といったマ
ーケティングの戦略も学べます。「園芸作物管理・収穫実習」では、
柏の葉キャンパスでの播種（種まき）や定植（苗植え）、収穫
などの作物の管理作業に加えて、先進的な「高度化セル成型
苗生産システム」施設見学など、貴重な実習経験を積むことが
できました。現在学んでいるのは、ミクロ経済学やマクロ経済
学を応用した、食品ビジネスに関連する実践的な内容です。専
門的かつ数学的な内容も含んでいるため、関連する書籍を読む
など時間をかけたり、先生に質問したりして理解するよう心がけ
ています。

時間割履修モデル 3年第1ターム

	1	2	3	4	5
月			消費者行動論		
火			技術者倫理 (専門基礎)	フードシステム学演習	
水					
木					
金			技術者倫理	資源環境経済学演習	

総合型選抜について

- 園芸学部の3学科(園芸学科、応用生命化学科、緑地環境学科)で、総合型選抜を実施します。
- 出願資格は、一般選抜の出願資格条件に加えて、千葉大学が主催するセミナー(研究、教育者を目指す高校生のための大学の「学び」先取り講座である「次世代スキップアップ」プログラム等)を修了した者、又は、高等学校在学中(あるいはそれに相当する課程の期間中)に、理科研究又は科学技術・園芸技術に係わる研究発表会・コンテスト・セミナー・社会活動に参加した者あるいは出願者個人が評価を得た者となります。
- 提出された書類により、第一次判定を行います。第一次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ合格者(合格内定者)を決定し、更に、大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績により最終合格者を決定します。
- 新型コロナウイルスの影響により更に変更の可能性があります。

■実施学科・募集人員

園芸学科 5名、応用生命化学科 4名、緑地環境学科 9名



大学院園芸学研究科

文理融合的なアプローチで園芸学を深化させる

自然科学のみならず、社会科学・人文科学をも含む文理融合的なアプローチによって、「食と緑」に関する高度な教育・研究を行います。学際的・国際的に幅広い視野を持った、マルチエキスパートの育成が大きな特徴です。



飛び入学制度

先進科学プログラム 植物生命科学先進クラス

千葉大学では、半年または一年早く大学に入学する飛び入学制度「先進科学プログラム」を設けています。園芸学部応用生命化学科では平成30年度入試より植物生命科学先進クラスへ飛び入学を希望する高校生を募集しています。
URL: <https://www.cfs.chiba-u.ac.jp>

Topic 01 生命機能を生物学的・化学的に解決し諸問題の解明に挑む

植物生命科学は、植物や植物を取り巻く環境における生命活動のしくみや関連する分子の機能を探究する学問です。その研究は、遺伝子の働きやタンパク質や糖質などの分子の機能、植物と微生物の相互作用、さらに植物の機能成分が動物に与える影響など多岐にわたります。植物生命科学先進クラスは、生物および化学を深く学び、植物生命科学に関連する分野の探求を目指す学生のための先進クラスです。植物生命科学先進クラスに入学した学生は園芸学部応用生命化学科に所属し、専門分野の授業は応用生命化学科の学生と同じクラスで受講します。



光合成機能に異常が見られる変異株(右)と野生株(左)

植物の体内時計(概日時計)が光合成機能を最適化するしくみ

Topic 02 植物生命科学先進クラスでできること



■一足早く研究を■
一般選抜で入学した応用生命化学科の学生は、3年次の夏以降に研究室へ配属され研究を行います。植物生命科学先進クラスでは1年次から最新の植物生命科学の研究に触れることができます。1・2年次および3年次の夏までに複数の研究グループの研究活動を体験し、教員の指導のもと幅広い分野の研究の最前線を経験します。そして、3年次の夏頃に研究室を1つ選んで配属し、担当教員や大学院生の指導のもと最新の研究を遂行します。

■少人数セミナー■

植物生命科学基礎セミナーや先進教養セミナーなど植物生命科学先進クラス独自の科目によって、少人数で専門分野や一般教養を深く学ぶことができます。

■海外研修■

18歳の夏休みに海外の大学に1ヶ月滞在し、授業や外国人学生との寮生活を通じて国際人として必要な英語力を身につけます(旅費、受講料、寮費免除)。

■入学金免除■

先進科学プログラムの入学者は入学金が免除されます。また授業料についても、選考の上、全額または半額免除される制度があります。

特1 徴

学際的研究拠点

園芸科学コースとランドスケープ学コースから構成されています。園芸学専門分野の深化はもとより、融合理工学府などの自然科学系研究科および環境健康フィールド科学センターと連携した学際的・総合的教育研究を行っています。

特2 徴

教育理念と教育目標

「食と緑」の総合研究科として、食料資源の生産・利用・流通、人と自然が共生する生活環境の保全・創造、人々の健康・福祉、さらには地球環境科学まで、人間生活に直結する重要かつ広範な課題に対して、自然科学のみならず社会科学・人文科学をも含む文理融合的なアプローチにより、学際的・国際的に幅広い視野から教育・研究を行います。

特3 徴

教育課程

深い専門性と全体を統括運用できる能力を合わせ持つ人材を育てるという教育目標を達成するため、園芸学研究科では園芸科学コースとランドスケープ学コースの2コースを、環境園芸学という1専攻に包括し、多分野横断的な統括運用能力の育成を目指します。

Student's Voice

森林管理の指針となる 森林の成長速度や死亡率のモデルを作成する



ランドスケープ学コース(2022年度)博士前期課程 深澤直希 FUKAZAWA NAOKI

長 野県出身で木々に囲まれて育った私は、森林に携わる研究に興味を持っていました。大学院進学を決めたのは、学科での自分の研究をさらに深め、あわせて広い知識知見を持ちたいと考えたからです。本研究科では幅広く、また奥深い特殊な学問も追求することができます。そのなかで私は、統計的な手法を用いて、森林の成長速度や死亡率のモデルを作成しています。このモデルは、将来の森林動態の予測や森林の適切な管理の指針になるものです。研究を進める上で、樹木のサイズなどを実際に計測するために現地に出向き、自然の中に身を置くこともあれば、そのデータを使ってパソコンに向き合う時間もあります。メリハリのある環境で研究に取り組めるのも大きな魅力です。

これまでのキャリアパス

千葉大学園芸学部園芸学科を卒業 (4年間)



千葉大学大学院園芸学研究科
ランドスケープ学コース博士前期課程へ進学、
現在に至る (2年間で修了予定)

国際交流 International Exchanges

園芸学部では、学生の海外留学を積極的に支援しています。留学のための奨学金も用意されており、留学ガイダンス、留学準備、実際の留学生活中のサポートを教員が積極的に行っています。



園芸学部の 国際的な取り組み

将来、世界をリードする人材を育成するため、学生の国際力を伸ばす多くの取り組みがなされています。

イングリッシュハウス松戸

園芸学部のイングリッシュハウスには学生、教員、日本人、外国人留学生関係なく、英語でコミュニケーションしたい人が集まります。自分の英語レベルは気にせず、気軽にいろいろな国の人と交流できます。最新の英語教材や設備も整っており、季節のイベントなども開催されます。



留学生による地域国際化活動

園芸学部・園芸学研究科に所属する留学生が組織する留学生会は、学内・学外を問わず活発な活動を行っています。毎年開催されている国際交流フェスティバルやクリスマスパーティでは、近隣地域の市民を招き、留学生の出身国の文化を紹介したり、料理をふるまうなど、積極的な交流をしています。また、留学生による小中高校

訪問授業も盛んで、地域全体の国際化の中核を担っています。



国際的共同研究や学術集会

授業やプログラムの中には、海外の協定校からの留学生が参加するもの、日本人学生が海外の協定校で参加したりするものがあります。また、大学院の授業では英

語で行われる科目も用意され、園芸学部教員による国際的な共同研究も盛んです。このような国際的学術交流を促進するための国際集会も開催されています。



協定校 Global Network of Exchange Schools

世界の約200大学とネットワークをもつ千葉大学。園芸学部でも多くの大学と独自に学部間協定を結んでいます。



松戸キャンパスの留学生一覧 (2023/5/1 現在)

		アジア	アフリカ	その他	計
学部	男	8	0	0	8
	女	4	0	0	4
	小計	12	0	0	12
大学院	男	24	1	1	26
	女	63	2	1	66
	小計	87	3	2	92
非正規生	男	3	0	0	3
	女	9	0	1	10
	小計	12	0	1	13
総計		111	3	3	117

部局間交流協定校(園芸学部) (2023/4/1現在)

大学間交流協定校(園芸学部関係) (2023/4/1現在)

※園芸学部関係以外の大学間交流協定校については、大学ホームページをご覧ください。
<https://www.chiba-u.jp/global/affiliate/college.html>

①	スウェーデン 農業科学大学 ランドスケープ計画・園芸・農業科学部
②	シェフィールド大学 社会科学部ランドスケープ学科
③	ドイツ ライプニッツ大学 ハノーファー建築・ランドスケープ学部 ドレスデン工科大学建築環境学部 ドレスデン応用科学大学 ローゼンハイム応用科学大学
④	ハンガリー セントイシュトバン大学農業環境科学部
⑤	フランス ベルサイユ国立園芸高等学校
⑥	スイス ベルン応用科学大学
⑦	イタリア ポローニャ大学農・獣医学部
⑧	ギリシャ トリノ大学農学、森林科学及び食品科学部
⑨	トルコ テッサロニキ・アリストテレス大学
⑩	エジプト アクデニス大学
⑪	エジプト エジプト国立リモートセンシング宇宙科学機関
⑫	インド バサイトマ大学 マケレレ大学
⑬	インド インド農業科学大学農学部バンガロール校 タミール・ナドゥ農業大学
⑭	インド イエジン農業大学
⑮	インド カセサート大学 マヒドン大学
⑯	インド キングモンクット工科大学トンブリ校 チュラロンコン大学 プリンスオブソクラ大学

⑰	ブルガリア コンケン大学 チェンマイ大学 メーファールアン大学 メーヨー大学
⑱	ブルガリア ラチャモンコン工科大学イサーン校サコナコンキャンパス メーファールアン大学農工学部 マハサラカム大学技術学部
⑲	タイ タイ国立科学技術開発公社 国立遺伝子工学・生物工学センター (BIOTEC) プラハ大学理学部食品科学科
⑳	マレーシア プトラ・マレーシア大学農学部
㉑	マレーシア テーラズ大学バイオサイエンス学部
㉒	マレーシア ポゴール農科大学 バジャジャラン大学
㉓	マレーシア マカッサル国立大学大学院 ハサヌディン大学
㉔	マレーシア ランブマンクラット大学 農学部コラボレーションセンター 国際稲研究所
㉕	フィリピン フィリピン大学ロスバニオス校
㉖	ベトナム ノンラム大学
㉗	ベトナム ベトナム国立農業大学
㉘	中国 華南農業大学農学部 福州大学生物科学与工程学院
㉙	中国 江蘇大学農業設備学部 湖南農業大学園芸園林学院 貴州大学

㉚	中国 南京農業大学
㉛	中国 四川大學建築環境学院
㉜	中国 上海交通大學 青島理工大學建築学院
㉝	中国 山東農業大學 中国農業科学院農業資源与農業区画研究所 中国農業科学院農業環境 及び可持續發展研究所 中国科学院/地理科学・資源研究所 /亜熱帯農業生態研究所
㉞	中国 中国農業大學 清華大學 清華大學/建築学院 /三角研究院 北京林業大學 北京林業大學園林学院
㉟	中国 瀋陽農業大學
㊱	中国 全南大學校農業生命科學大學
㊲	韓国 ソウル国立大學 ソウル国立大學農業生命科學部
㊳	中国 国立中興大學産業自然資源學院
㊴	カナダ プリティッシュコロンビア大學 植物園・植物研究センター
㊵	アメリカ ワシントン大學環境学部環境森林科学学科 /建築・都市計画学部
㊶	アメリカ アリゾナ大學
㊷	アメリカ 西カロライナ大學芸術、科学学部
㊸	パナマ パナマ大學 パナマ工科大学
㊹	オーストラリア マッセイ大學

キャンパスライフ Campus Life

充実した施設や設備はもちろん、四季折々の花が咲く自然豊かなキャンパスに身をおくことで、心身ともに健康な学生生活を送ることができます。

松戸駅～キャンパス



戸定ヶ丘歴史公園
重要文化財に指定された、全国で唯一公開されている徳川家の住まい・戸定邸を有する、四季折々の草木が美しい公園です。

松戸駅前
キャンパス最寄りである松戸駅の東口。JR常磐線と新京成線が乗り入れ、商店も多く、いつも多くの人でにぎわっています。

まつど祭り
松戸駅周辺を中心に行われるお祭りで、「音楽パレード」や、「全国ふるさと物産展」など盛りだくさんのイベントが行われます。

Campus Map



1 図書館

千葉大学アカデミック・リンク®のコンセプトに基づき、図書館が生まれ変わりました。新たな学習環境の構築を目指し、学生の多様な学習スタイルに応えられる学習空間を提供します。
※千葉大学アカデミック・リンク
<http://alc.chiba-u.jp/concept.html>



2 教育研究棟

A～Eの5つの建物からなり、講義室や研究室があります。中でも近代的なガラス張りのB棟はひと目を引きます。



3 洗心倶楽部

千葉大学の卒業生、短期留学生及び外国人来訪者等の宿泊施設や学生・教職員の集会所としての機能を備えたゲストハウスです。



4 100周年記念戸定ヶ丘ホール

園芸学部が2009年に100周年を迎えたことを記念して建てられました。キャンパスの新たなシンボルです。



5 フランス式庭園

周囲より一段低くすることにより、見晴らしのよい庭園に、軸線を中心に左右対称の構成になっています。



6 緑風会館

1Fは文具からお菓子まで揃う大学生協、2Fは学生食堂があります。ランチ時は学生でにぎわいます。



7 研究圃場

敷地の東側には、実験や演習を行う研究圃場が併設されています。

2年次生の1日のスケジュール



8:30



通学

JR松戸駅から徒歩約15分。自転車通学の学生もいます。閑静な住宅街を抜けると、緑豊かなキャンパスが見えてきます。



8:50



午前の授業

午前中は、主に座学の講義科目を受講します。授業が行われるD・E棟は、毎日学生の活気で溢れています。



12:00



ランチタイム

お昼には大にぎわいの学生食堂でランチ。人気メニューはスタミナ満点の「パワー丼」。お弁当を持参する学生もいます。



12:50



午後の授業

午後からは、講義・実験・演習・実習など多様なスタイルで学習します。講義室だけでなく、キャンパス内のあちこちで授業が行われます。



16:00



サークル活動

松戸キャンパスでは、ほとんどの学生が「園芸バレーボール」をはじめ、様々なサークルで活動しています。

主なクラブ・サークル一覧

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 園芸バレーボール部 | 植物同好会松戸支部 |
| 千葉大ジャグリングチーム POSSUM | HGC(Human Green Coordinator) |
| こんぷ(バドミントン) | 松戸ミュージックサークル(MMC) |
| サイクリング部松戸支部 | オリエンテーリング部松戸支部 |
| MaTe(テニス) | 松戸剣道部 |
| セバタクロ一部松戸支部 | 援農お宝発掘隊 |

Message from alumni

卒業生
からの
メッセージ

園芸学部の卒業生たちは学生時代に得た専門知識と経験を生かしながら幅広い分野で活躍しています。好奇心を引き出す多様な学びと教員のきめ細やかな指導によって培われた専門性は社会に出てからも大いに役立っています。



福原修斗さん
FUKUHARA SHUTO

園芸学科卒 (2015年)
環境園芸学専攻生物資源科学コース修了 (2017年)
(公財) 東京都農林水産振興財団
東京都農林総合研究センター勤務

人とみどりが共存する空間を目指して

都市緑化とは、安全で快適な都市環境の形成に向けて、都市の様々な空間に施される緑化のことを指します。景観の向上や防災、ヒートアイランド現象の緩和、身近な生き物の保全など様々な効果があり、私たちの生活に欠かせないものです。私は東京都の試験研究機関で、都市緑化に使われる樹木や草本植物について研究しています。研究テーマは「緑化植物の効率的な生産技術の開発」で、自分の研究成果を都内の植木生産者に役立ててもらえる、やりがいのある仕事です。また試験研究以外に、センター内に植栽されている400種以上の樹木の剪定作業や植え替え、展示園の整備などの業務も担当しています。そのため現場仕事が多く、日中の半分以上の時間を園場で過ごしています。

今では園場での業務が中心ですが、大学時代は細胞遺伝学を専攻し、染色体観察をテーマに研究していました。当時は一日中顕微鏡で染色体を観察し、園場には殆ど出ていなかったため、分野も研究内容も全く異なるものでした。しかし、遺伝育種研究室での日々は、今の業務に活かしていると感じています。先生や先輩方、後輩たちに恵まれたのは勿論ですが、特に菊池先生の指導の下、学会発表や論文投稿、海外留学などチャレンジする機会を頂き、その中で自分の強みである「諦めず成し遂げる力」を認識できたのが得難い経験だったと思っています。これからも人とみどりをもっと身近に接する社会を築くため、試験研究の分野から植木産業の発展に貢献していくことが私の目標です。

暮らしの楽しみや場所への愛着。生活に寄り添う緑をつくる

団地の屋外空間に関する設計・積算・工事監理を行っています。屋外空間を設計・施工する際には、机上の図面だけで検討するのではなく、その場所の歴史や環境、特性を考慮した上で樹種や材料、工法を選択する必要があります。さらに緑地の機能に期待される効果や、制度による制約、植物ごとに適する植栽環境なども複合的に検討しなければなりません。制約のある中でいかに最適解を見つけ出すか——これは学生の頃にはなかった視点であり、苦労するところでもあります。しかし、多様なプロセスを経て完成した屋外空間に対して、お住まいの方に「きれいになったね」と言ってもらえるだけで大きな喜びを感じます。私は学生の頃から「人の生活に寄り添う

緑」に興味がありました。大学では「造園」という学問を軸に、グリーンインフラや緑地に関する制度、植栽管理などさまざまなことを学びました。その際に身についた専門用語や予備知識が、業務に生かされています。また他大学との合同研究プロジェクトでは長期的に持続している集落の現地調査を行い、写真や映像からは得られない生きた知識を得ることができました。緑地は地球環境には必要不可欠な存在ですが、衣食住という面では意識されにくく感じています。そんな中、「このおかげで日々の暮らしに楽しみが増えた」「この場所がもっと好きになった」と少しでも感じてもらえるような屋外空間を手がけることが今後の目標です。



武田奈緒さん
TAKEDA NAO

緑地環境学科卒 (2014年)
園芸学研究科 緑地環境学コース環境造園学領域
修士課程修了 (2020年)
独立行政法人 都市再生機構勤務

感性が大切なメイク製品開発。新たなトレンドを生み出したい

ワクワクしたり、自分に自信を持たせてくれたりする化粧品に関わる仕事がしたいと思い、この仕事を選びました。現在はファンデーションや口紅など、メイク製品の研究開発をしています。業務は、色材やラメ、油剤などの原料を混ぜ合わせてサンプルを作製するだけではありません。商品企画や品質保証、生産など様々な立場の方と議論を重ねながら、次のトレンドを生み出すような新製品の開発に取り組んでいます。研究室で日々仮説と検証を繰り返した経験は、目標品質に一歩ずつ近づける仕事の進め方にそのまま生きています。また製品開発を進めるにはコミュニケーションが不可欠で、普段から雑談を交えてメンバーとディスカッションをしていた研究室の環境も

役立っています。研究は楽ではありませんでしたが、素敵な先生や愉快的メンバーに支えられ充実した研究生活を過ごすことができました。メイク製品は化粧持ちなどの機能性のみならず、見た目の良さや使い心地など言葉で表しにくい「感性」が非常に大切ですが、これは同時に表現するのが難しい部分でもあります。それだけに、苦労して開発した製品が店頭と並んでいるのを見るとうれしくなりますし、ランキングや口コミなど目に見える形でお客様の声を受け取れることにやりがいを感じます。メイクには外見だけではなく心も彩る力があると思います。使う人が自信を持ったり、なりたい自分に近づけたりするような、ユーザーの心に響く製品開発をしていきたいです。



江澤あやめさん
EZAWA AYAME

応用生命科学科卒 (2016年)
融合科学研究科 ナノサイエンス専攻
ナノバイオロジーコース修了 (2018年)
株式会社コーサー勤務



折笠貴寛さん
ORIKASA TAKAHIRO

生物生産科学科卒 (2001年)
自然科学研究科生物資源科学専攻
(博士前期課程) 修了 (2003年)
自然科学研究科生命資源科学専攻
(博士後期課程) 修了 (2007年)
国立大学法人 岩手大学農学部勤務

幅広い分野を学んだことで自分の学問分野の立ち位置が把握できた

准教授として農業環境学分野(農産食品プロセス工学)の教育研究に携わっています。研究においては、投稿した論文を査読者のコメントに基づき何度も修正を繰り返し、掲載に至ったときにひとつの達成感を覚えます。園芸学部は、蔬菜・花卉・果樹などの園芸学のみならず、農業に係る幅広い分野の講義が開講されています。学部生の時は気付きませんでしたでしたが、こうした講義を履修したことで、農学分野を俯瞰した上で自身の学問分野の立ち位置を把握できるようになったと思います。「よく学び、よく遊べ」を実践した学生時代。その時に経験した苦労やその後の息抜きは今の私の財産になっています。その一方で国立大学の教職員数が減少している

にもかかわらず業務は年々増加しており、教員が学生と接することのできる時間が大幅に減少しているように感じます。そんななか、研究室に入った当初は何をしらばいのかもわからず受け身の姿勢だった学生が、卒業するころになると「ディスカッションしたい」と言って来るなど、主体的に行動できるようになってきます。そうした成長の様子を間近に見ると教員冥利に尽きます。近年、SDGsが注目されており、さまざまな分野で持続可能な社会の構築に向けた取り組みの強化が求められています。今後は、持続可能な農業食品関連産業のあり方について自ら考えるのはもちろん、そのような視点を持ってものごとに取り組める人材を育てていきたいと思っています。

農業現場の声を聞いた経験が農業に関する政策立案に生かされている

大学時代、農業の高齢化や耕作放棄地の増加が日本全国で課題となっていることを学び、国レベルで日本の農業に携われる仕事がしたいと思い、現在の仕事を選びました。現在は国際部に所属し、特に欧州地域との二国間関係を担当しています。これは、たとえば日本産食品を海外に輸出する際に規制がある場合に、ハイレベルでの会合等で相手国に規制を緩和もしくは撤廃してくれるように働きかけるといった仕事です。世界の動向にアンテナを張り、新しいことに挑戦する毎日です。1年目には、日米貿易協定のリーガルチームに在籍しました。国会審議の際は朝から夜遅くまで働き続けましたが、新聞に載るような歴史的瞬間

に関わることができて大きなやりがいを感じました。仕事をする上では、卒業論文で約20軒の農家の方々にインタビューしたことが役立っています。就職してからは、国際部に所属していることもあり現場に向くことはほぼありませんが、大学時代に現場の声を直接聞いたことで農業現場のイメージができており、現場に役立つソリューションを提供できないかと考えることにつながっています。また、農業経済学や農業経営学で学んだ内容は、仕事に直結しています。今後は、長期海外派遣制度を利用して、海外で農業経済学の修士号を取得したい。そして、より専門的な視点を持って政策立案に携わりたいと考えています。



川道美悠さん
KAWAMICHI MYU

食料資源経済学科卒 (2019年)
農林水産省勤務

園芸学科
教員から

園芸学の成果を通じて、
世界にイノベーションを
起こしましょう。

中野明正

新しい農業が待っています。
未来は君等の手中！

深野祐也

多様な植物を形作る
遺伝の仕組みと一緒に研
究しましょう！

菊池真司

野菜の研究を通じて
心と体を鍛えよう！

浄閑正史

劣化・損傷・
破壊された
生態系を再生します。
一緒に地球を救いましょう！

小林達明

風景計画学とは、環境を
理解し、風景を楽しみ、
自然に親しむ学問です。

古谷勝則

生活する人の目線
で、緑豊かな都市と農村を
つくることを学ぼう！

齋藤雪彦

緑地環境デザインの国際的
高度専門職である
ランドスケープアーキテクトになる
ための素養を身につける
ことができます。

霜田亮祐

緑地
環境学科
教員から

おいしい果実の
つくり方とその
しくみについて科学
してみませんか。

小原 均

最先端の
野菜生産をさらに進化
させるような研究をして
みませんか？

塚越 覚

園芸を究めよう！

渡辺 均

より豊かでカラフルな生活
のために、一緒に花卉園芸
を学問しましょう。

出口亜由美

園芸学部 長から
植物好き集
植物と環境の
学び、一緒
地球を考え
松岡 延浩

園芸学部
員から
生まれ！
相互作用を
に未来の
よう。
延浩

千葉大学
教職
受験

園芸学部
員から
生への

mes sage
メ ッ セ
ー ジ

様々な花の色はどの
ように生まれるのか？
一緒に研究しましょう。

國分 尚

園芸学を基礎として
革新的な食料生産
システムを創造
しましょう。

後藤英司

果物は日本が世界に誇る
芸術品。そんな美味しい果
物の研究してみませんか。

齋藤隆徳

スゴイ植物を
作るため、遺伝
子から植物のナゾに
迫ってみよう。

佐々英徳

植物が命を繋ぐ技(生殖)の神秘を探り、
新しい植物創りを目指しましょう！

井川智子

ドローンなどの最先端
機器を使った農作物診
断の可能性を開拓しま
しょう！

濱 侃

園芸プロフェッショナルを
目指すならどうぞ園芸産業
創発学プログラムへ！

大川克哉

新鮮で栄養・機能性に富む
園芸農産物の物流を科学し、
豊かな食と地球を守ろう。

椎名武夫

自然界に共存
する植物、害虫、天敵たち
の生き残り戦略を解き明かそう。

長 泰行

食べ物としての植物の
性質をいろいろな観点から
研究しましょう。

小川幸春

植物に病気を
おこす不思議な
微生物たちを研究し
てみませんか？

穴戸雅宏

植物を攻撃する病原微生物
の攻撃手段を解明し、
植物の病害を防ぎます。

宇佐見俊行

植物共生微生物の農業
利用を研究中です。
共生のチカラを一緒に
探求しませんか？

坂本一憲

環境調節で
植物生産システムの
フロンティアを一緒に
開拓しましょう。

吉田英生

植物の色が
どのような酵素により
生合成されているのか
代謝経路を明らかにしよう。

宮原 平

ワクワクするような
植物分子生物学を
しましょう。

園田雅俊

食料・環境・生命を支える
『土』のひみつ。
まだまだたくさん
ありそうです。

八島未和

分子レベルの研究
から社会への応用に至る生命
化学の研究が待っています。

児玉浩明

有機化学の力で生命機能
分子を作り出し、
生命の謎の解明に
チャレンジしよう。

土肥博史

緑豊かなキャンパスで、
生物の不思議を専門的に
楽しく学びましょう。

相馬亜希子

生命科学を深く学び、植物の
持つ新しい機能を一緒に
発見しましょう。

華岡光正

植物細胞の中から、
人に役立つものを
探してみませんか？

島田貴士

自然から生理活性物質を探し、
見つける、
作ることを専門にしませんか？

加川夏子

メタボなどの病気の
予防に役立つ食品を
見出し健康寿命の
延伸に貢献しよう。

平井 静

一緒に新しい微生物を
見つけて、物質生産や環境
浄化に役立てましょう。

天知誠吾

食品の機能を
研究することにより、健康・
病気・生命科学を
学びましょう。

江頭祐嘉合

分子レベルで紐解く食品。
新たな栄養素や代謝産物を
一緒に見つけよう。

高橋一聡

歴史と伝統を誇る園芸
学部で、食と緑の最先
端の研究を経験して
ください。

横山保朗

親身になってくれる
先生が多い学部です。
充実したキャンパスライフを
手助けします。

佐藤真梨

季節を感じる
緑あふれるキャンパスで、
のびのびと楽しい
学生生活が待っています。

北村雅子

グローバルで実り豊かな
キャンパスで皆さんを
お待ちしております。

長尾 彩

千葉大学生協園芸学部購買部から
応援します!! 園芸キャンパスライフ。お待ちしております。

佐合義之

緑と国際色が豊かなキャン
パスで、植物や環境に
ついて研究しませんか？

大石周平

緑豊かな良い環境で植物、環境に
関する知識を深めましょう。

岡田恵理

食料資源
経済学科
教員から

食の奥深い世界をローカル/
グローバル双方の視点から
学ぶことができます。

櫻井清一

将来、食品業界に関する
仕事に携わりたい人には
ピッタリの学科です！

矢野佑樹

世界の都市農業の未来を
考えてみませんか。

高垣美智子

生物を育て自然の影響もある農業を
経済学で分析する面白さを
是非あなたも！

吉田行郷

食品の安全性や豊かな農村環境は
いくらかな？
答えは経済学にあります。

栗原伸一

環境と人との関わり方について
一緒に考えてみませんか。

丸山敦史

事務部
職員から

歴史と伝統を誇る園芸
学部で、食と緑の最先
端の研究を経験して
ください。

横山保朗

親身になってくれる
先生が多い学部です。
充実したキャンパスライフを
手助けします。

佐藤真梨

季節を感じる
緑あふれるキャンパスで、
のびのびと楽しい
学生生活が待っています。

北村雅子

グローバルで実り豊かな
キャンパスで皆さんを
お待ちしております。

長尾 彩

緑と国際色が豊かなキャン
パスで、植物や環境に
ついて研究しませんか？

大石周平

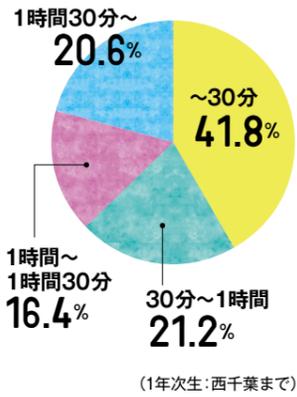
緑豊かな良い環境で植物、環境に
関する知識を深めましょう。

岡田恵理

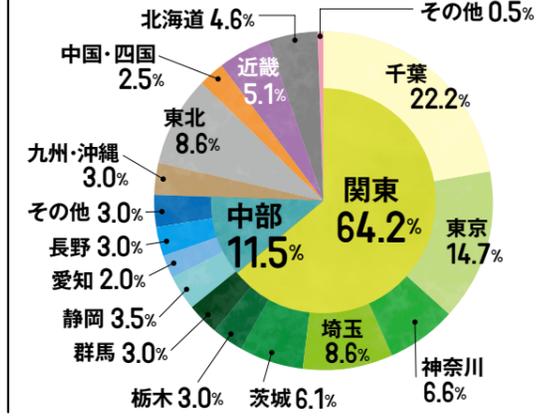
(以下①～⑥については、令和5年度入学者)

園芸学部で学ぶ学生は、関東をはじめ全国から集まっています。卒業後は専門的な職種に就き、それぞれの分野で活躍しています。また、大学院に進学する学生も多数います。

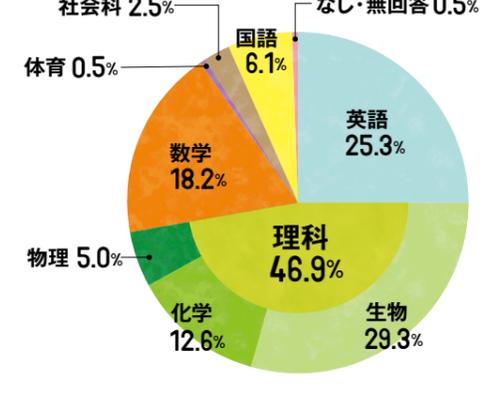
1 通学時間



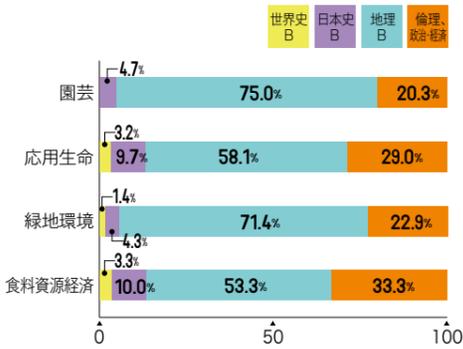
2 出身県



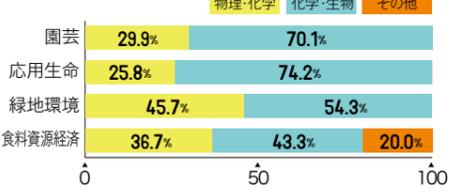
3 高校時代の得意教科



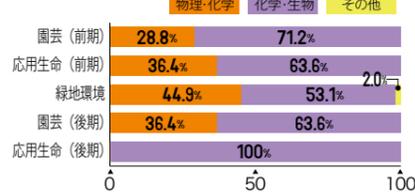
4 共通テストの社会科受験科目



5 共通テストの理科受験科目



6 個別学力検査の理科受験科目



7 取得可能免許・資格

教員免許 園芸学科、応用生命化学科、緑地環境学科共通 → 中学校1種(理科) / 高校1種(理科、農業)
食料資源経済学科のみ → 高校1種(農業)

資格等 応用生命化学科 → 食品衛生管理者資格 / 食品衛生監視員の受験資格
緑地環境学科のみ → JABEE 技術士試験の一次試験免除
4学科共通 → 学芸員資格 / 危険物取扱者(甲種)の受験資格 / 樹木医補資格

Q 下宿をしている学生はどれくらいいますか？また、寮はありますか？入寮条件はどのようなものでしょうか？

A 自宅から通っている学生が約50%、下宿している学生が約35%、寮に入っている学生が約10%います。松戸地区にはキャンパス内に浩気(こうき)寮という寮があります。自宅から概ね片道1時間30分以上の通学時間を要する者を対象として選考します。

Q 教員免許を取っている人はどれくらいいますか？

A 年によって人数は変わりますが、毎年5～10人程度(延べ人数)の学生が免許を取得しています。

Q 学生はどんなアルバイトをしているのでしょうか？

A 約60%の人がアルバイトをしています。業種としては一番多いのは飲食業で、次いで教育関係です。アルバイトをしている学生のうち、およそ70%がこれらの業種です。

Q 1年生は西千葉キャンパスに通うって本当ですか？

A 本当です。1年生は、松戸で必修の授業がある水曜以外は、西千葉で授業を受けます。2年生以降は、普通教育科目を取り逃した人、教員免許を取る人、初修外国語を履修している人以外は、基本的には西千葉に行くことはありません。

園芸学部 Q&A

Q 高校で生物を履修していないのですが、大丈夫ですか？

A 普通教育科目に基礎生物についての授業がありますが、基本的には教科書・参考書等で自分で学習することになります。大学の専門課程の授業は生物の履修の有無と関係なく行われますから、必要に応じて自身での努力が求められます。

Q 千葉大学園芸学部の受験を決めた時期はいつ頃ですか？

A 高3の 때가最も多く、70%の人はこの時期に受験を決めています。次に多いのは高2ですが、なかには中学生の時にすでに決めていたという人もいます。

令和6年度選抜のご案内

園芸学部は、受験者のもつ資質や適性に応じて、複数の受験機会と多様な選抜を提供しています。

※新型コロナウイルスの影響により、さらに選抜方法等が変更になる可能性があります。

一般選抜

①前期日程

大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して判定します。個別学力検査では、英語、数学、理科(食料資源経済学科を除く)を課します。

試験日程等 試験日……………令和6年2月25日(日)
合格発表日……………令和6年3月9日(土)

②後期日程

大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して判定します。個別学力検査では、理科(園芸学科及び応用生命化学科)または小論文(緑地環境学科及び食料資源経済学科)を課し、思考力、理解力、表現力などを総合的に評価します。

試験日程等 試験日……………令和6年3月12日(火)
合格発表日……………令和6年3月20日(水・祝)

総合型選抜

出願資格は、一般選抜の出願資格条件に加えて、千葉大学が主催するセミナー(研究、教育者をめざす高校生のための大学の「学び」先取り講座である「次世代スキップアップ」プログラム等)を修了した者、又は、高等学校在学中(あるいはそれに相当する課程の期間中)に、理科研究又は科学技術・園芸技術に係わる研究発表会・コンテスト・セミナー・社会活動において出願者個人が評価を得た者として、提出された書類により、第1次判定を行います。第1次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ合格者(合格内定者)を決定し、更に、大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績により最終合格者を決定します。

試験日程等 試験日……………令和5年11月12日(日)
第1次選抜合格発表日……………令和5年10月27日(金)
第2次選抜合格発表日……………令和5年12月1日(金)
最終合格発表日……………令和6年2月8日(木)

園芸産業創発学プログラム選抜

模擬実習(または模擬実験)では園芸作業に対する関心、意欲及び理解力、ならびに植物に対する観察力を評価します。模擬講義及び模擬講義に関するレポート作成では模擬講義の内容についての理解度や限られた時間に論理的に考えをまとめ、的確な言葉で表現できるかを調査します。プレゼンテーションでは事前に与えたテーマについて考察した内容を発表することにより、思考力、理解力、創造力、意

欲を総合的に評価します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲、入学後に学ぶ分野についての広い関心、卒業後の将来計画について評価します。高等学校までに修得した学力は英語外部検定試験のスコア、大学入学共通テストの理科および数学の成績等で評価します。

試験日程等 試験日……………令和5年11月11日(土)～12日(日)
合格内定者発表日……………令和5年12月1日(金)
最終合格者発表日……………令和6年2月8日(木)

先進科学プログラム学生選抜(飛び入学)

出願資格は、大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任を持って推薦するものとします。

- 令和6年3月31日において年齢が満17歳以下の者
 - 植物生命科学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者
- 提出された書類と筆記試験(前期日程:英語、数学、化学、生物)の結果により、第一次判定を行います。第一次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ最終合格者を決定します。

試験日程等 試験日……………令和6年2月25日(日)
第1次判定合格発表日……………令和6年3月9日(土)
面接日……………令和6年3月16日(土)
最終合格発表日……………令和6年3月20日(水・祝)

私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者で、別に定める一定の要件を満たした者に対して、調査書、英語能力評価証明書、日本語能力試験、基本科目試験、面接などにより総合的に評価します。面接では、大学教育に必要な基礎学力を調査するとともに、コミュニケーション能力、学習意欲、分野に対する広い関心について評価します。

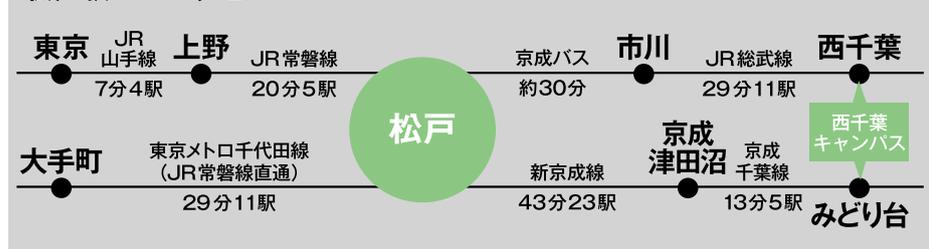
試験日程等 試験日……………令和5年11月11日(土)
合格発表日……………令和5年12月1日(金)



Access アクセス



松戸駅へのアクセス



千葉大学 園芸学部

<http://www.h.chiba-u.jp>

〒271-8510 千葉県松戸市松戸648番地
TEL 047-308-8712
FAX 047-308-8720

